

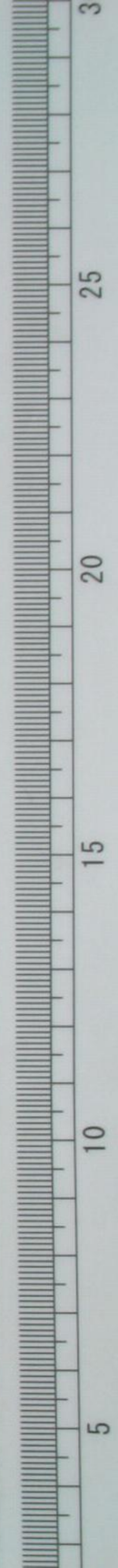
起八月十日

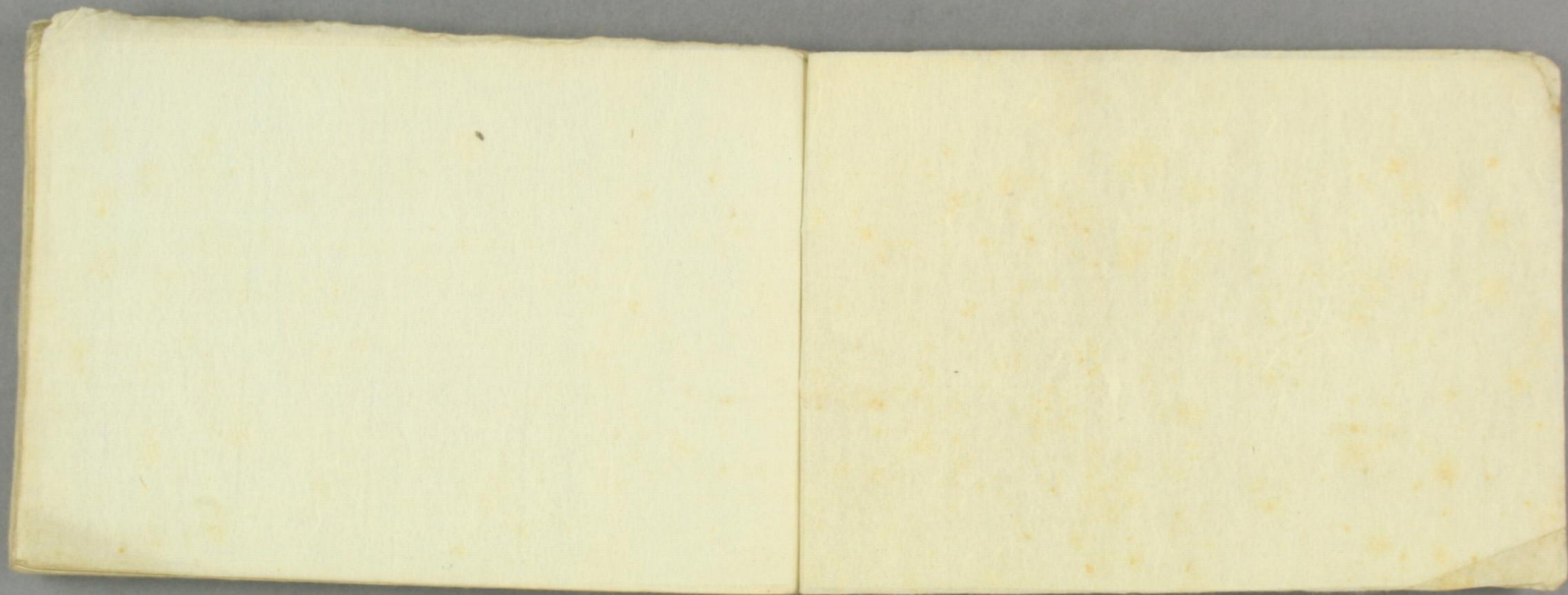
病床日誌

二月三日



特別
14
1919
778





14
1919
778

38- 9340

176946

八月十三日 七女 暑 赤いど

空に雲多く夕刻に夕まき

あり 体温八十六度に昇り

午後の時入浴の時 寒さ 咳 鼻

詰に交り 咳 咳して 苦なり 分重

小便 頻りに 一二 さまあり 志か

夜 肥田 肥田 肥田 肥田 肥田

夜中 頻りに 熱 眠り

十四日 尖 暑 八十六度

昨日 辰の 時 咳 咳 咳 咳 咳

り 又 黒色の 小血塊 を 吐き 出す 昨

日の 残り あり

二階 坐敷 より 下 座敷 へ 移 移

体温 朝 三十一度 三十分 搏脈 あり 夜 三十一度 五分

午後三時頃 東京 来診
采守あり 天王のは多野 首領
旗本氏 旗本 安田 宿衛

夜中は頗る熱 眠 食物 牛乳 スープ
此日 東京 の山崎 初永 一送銀

の午後 午後 七時 午後 七時
十五日 炎暑 風あり 夜に
風止 氣温 九十 度 以上

午前 四時 頃 咳嗽 新日 紅黒 の二色

吐血あり 体温 三十六度
七時半 一嗽 又吐血す 搏脈 七十六

一此 咳と 吐血の量 小蓋 一杯 あり
しかり

今朝 田辺氏 が 及書 来到

又 佐藤 伊助 より 書留 及書

東京 田治 太郎 肥田 郎 高橋

上野 栗林 二十日

夕刻 橋 佐治 氏 して 出掛 しか
相寄 分 返す

午後の 候 地 子 来診 の 後 に
下痢 せ かける 少く 利す (其

日の 朝 に 云々 しても 再び 利す
多量の 下痢 せ 候 候 候

辨し 候 候 候 候 候 候

十六日 快晴 昨二回

胡蝶文三ノ電報を待す

今迄排出ノ血度所々比
三ノ拍子少クモ或シト
七ノ拍子也

藤井忠吉ノ二ノ人
核心血分命ニ可成キ本
詩也

相通スアリ

朝信位 三ノ拍子
夕子 三ノ拍子
夕子 三ノ拍子

池原色色ノ事行ある
夕子ノ拍子も三ノ拍子
を付老物多クも也

八月十七日

時常二回

方角あり大ニ涼志目也

今九拍子ノ電見也

今片ノ拍子来者し

電拍者あり

今九拍子ノ電

体温三度

多量ノ汗流咳嗽血瘰癧
此病ノ事

七付可所喉喉道了子路
 多あふ者高り日あける
 血痰涎杯一夏后抑出
 二子旋可北陽喉院出
 次七之身。念君注の世
 接巨医所之了子君信
 後し若杉医学士尔
 信おりる
 白好三可中池五若杉五
 浅の立気流森方也小
 看渡ぬ了右増解れ
 白子体温三十二度一分
 夕... 三十二度五分

本初る 多あ市路
 一平人 与海杉丹群注
 入 夜依存伊左あ注
 川 夢 希 出 本 所
 抱本 指 欠 人 子 多 あり
 二 面 あり 子 多 あり 海 宗 世 あり
 与 海 九 あり あり 又 あり あり あり
 多 有

百十百

朝 降 雨 冷 気 感 了 了 吸 入
 氣 温 下 下 下
 朝 三 十 二 度 脈 打 卒
 体 温 午 三 十 六 度 下 下 七 十 八
 夕 三 十 七 度 下 下
 手 末 指 既 五 七 付 血 痰 少 三 三 あり

本年定下病勢如何入集電
五十二日定電之條業首六

本訪名者島嶼一や三田村

之印名者波中田七四印更

其島汽機名者由三平三

少落橋下。僅再仔細去

川清、本末、目見、再

午、延、平、竹、山、医、師、来、院、下

毒

朝集昭天氣位
九千分千者及音腰兩節

傳溫
朝

午方海池系、若杉、竹山送

師、立寺於新寺、池平氏

洋行、長、若、杉、竹、山、送、之、海、托、依

机、了、二、面、師、之、今、及、行、受

く、了、之、海、托、也、

本朝、来、系、定、之、送、也、也、

又、少、頃、氏、之、日、時、之、送、也、也、

本朝、血、瘧、之、足、者、氣、分、也、四

本、方、之、人、也、

本、訪、名、者、波、中、田、七、四、印、更

七、五、分、者、平、三、白、語、者、三、葉

本、城、前、名、者、川、波、也、

飯不仕況果 鐘本久死天
後九府 真島桂河川未中流

車和典 下柳乃兄兼此三極
し世に世に多報返す

之王大君 獲神助 今一為断
去上上世を迷さるる一為断

りし世に世に多報返す
新島山一、信白、龍口、分兄兼此

二橋
午後七時 以事果定之為分病
世に世に多報返す

吾や同之入電報下 去るに
去此に及さん上右通電一升之去る

江部、電電又回時、書面、詳
報也

百廿日 晴天 西平、九五

本朝、血痰、排多し、氣分、夏

体温 朝

弟兼電、分此、夜、通電、

亦訪者 真島桂河川中果

有島島、三城、君、相、必、盛、之、天

言、四、早、苗、成、病、状、中、臣、
田、也、久、死、所、入、念、上、三、三、分、報、世、兼、

朱乃心何表杉医师来论云

年暮杉木山氏云是年寒報来日

三輪間云印氏云是年寒報来日

午時之時杉山医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

自甘下晴天北風氣温在冬

朱乃心何表杉医师来论

朝三子云

体温

牛亦在冬寒之病状が部す

大隈の膏より又弄々未定なり

朱乃心何表杉医师来论

杉山氏云云 佐藤宗信氏

再三伝手云 真島中太介氏

中地平氏云云 杉山氏云云

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

朱乃心何表杉医师来论

廿三日

暑天冷気

午前十時迄移居而來診あり

体温低下は注意あり病状亦

日二回一々平穩なり

体温 朝 三十五度五分

夕

本朝申病室へ病状リ難

富田未洗、尾崎紅葉未(通)

榮行下

本朝少量の血痰ヲ排せり

車次名 中野車庫内家

本出車況思 以何難を以て

午後四時お牛山医師の来診あり

午後五時迄は病室の向ヶ

向ヶ

朝 雨

廿三日

十時迄病室へ降雨時冷気

を及べり

本朝も体中の如く少量の血痰と

排せり

体温 朝

夕

来訪者 其高千代了
左方表方印末田良平系
市島方大印末末宿田良平系

来此年事昂子了
全定了書也

午後四時若杉醫師来診
歩友の時迄市島末良平系
初石青三鉢了又三鉢中火大

自井田
朝来時又日暮
血痰了又手書味了

体温
朝

来訪者 初良最良系

度川年相末 其出老也

午後二時若杉醫師
醫師来診あり

永井一系
必形久

自井田

晴天
身体あり
又ら元氣大

体温
朝

来訪者 相田哲男系

坂江一印書 真島信城書

程久 爰者史 上知悉 永以不

傳坂田三系 謀去 皇城放一更

有梅義彦 報し 毒坂君

上平 為守 辰の 依 托 女ッ 院 あり

生 及 三 時 幸 以 川 院 幸 云 移、

中 山 医 師 未 迄 了

同 時 小 平 君 為 医 師 王 王 市 場

の 湯 桶 中 幸 治 せ ら ぬ 二 三 注

意 先 竹 子 且 一 軽 重 云 中 中

第 二 次

赤 坂 御 君 一 二 口 中 二 上 幸 又

ハ 存 又 舞 丸 の 菓子 折 を 托 せ

再 二 仲 二 二 依 形 云

幸 二 亦 定 二 病 世 二 報 一 再 云 二

歳 二 亦 二 込 二 中 二 進 二 二 二 二 二 二

幸 二 及 二 幸 二 還 賜 二 道 二 了

有 廿 六 日

時 朝 未 日 言 氣 臣 一 口 九 二 交

幸 休 亦 日 二 大 君 二 幸 二 血 疾 二

排 亦 二 幸 二 宜 云 二

朝

体 温 二 幸

リ

野 子 塩 系 古 所 南 加 沈 石 乃 吉 田 幸

崎 了 了 又 舞 丸 川 末

車東江葉山片東狀

田中唯之介未片聞久電報奉
五七三宜春旨返電云

本訪者。越前日備去矣

栗林内室 潮田方孔表

滋波重平表 豊橋教養所表

菅後七郎中君杉匠師来診下

流部意揚之外尤も消化し易き

此少三用之り許ス

吐腹還腸之る方本朝四時

五時之交多量の便を通り

午後五時迄看道帰一在病室お

毎廿七日

相東降雨冷気と元巾多分

曇り多し雨模様あり

病状別異多し毎日三用

作温 朝

夕

車東南田表平表寫真所次

二氏及形表田田久孔表下又弄

状内末

梨訪者 青木定謙表

野津卯一表 山田七郎中表

小高橋三下表 永井一平表

初田舎三師氏が又拜伏出来
牛車毛の巾着に包みし紙ありて
別来
富山永代氏名書紙別来
初菜葉菜ワツブ牛乳鶏卵流
和物のみ食神トシは在口
長子医師許ニテ少量ノ薬内ト
者名林檎ヲ用ユ

月廿六日

晴王風少クアリ爽ナリ

病状異常ナシ本日ヨリ牛糞
牛糞一町方迄ツ、起キ上ルニ海

コト試ミタルも別置ナリ

体温朝
字

夕

牛糞在案定之病状と報ナリ

亦試言ナ頭法臣名廣井一系
高井八郎無志也幸崎店毎事又
石崎店ノ中ト
田舎毛平太没シ去ル一云ハ
又拜伏出来

牛糞三町方表村医師ノ代迄
来テリクナリ

牛糞之分書一稿出来

牛糞看養婦一名文者云

八月廿九日

晴北風涼

病状異事なく一日一回

体温 朝 厚

佐藤博士下、長柄生老英氏分元
蘇則東近院又

本訪者、東島中、中、老、孫
如心新十印表 活興三印

高橋清重、了、大、東、北、山、東
午後三時、表、移、運、師、(四、日、了、陽、日)
午前、亦、山、匠、師、未、了、了

東京、定、分、山、包、二、ラ、子、八、年、三
則、着、全、五、後、紅、紫、氏、分、後、其、他
西、交、七、十、冊、取、七、包、三、多、引、着、取、返、着
去

秋、山、下、受、下、受、山、林、順、生、(表)
蘇、忍、君、未、了、了

下、劑、之、服、ら、ん、元、利、力、久

八月廿日 晴 少 蒸 下 山 山 山

病状お日、全、一、く、異、事、なく

体温 朝 厚

夕

本討者 山岸七郎君
福田南吉君。直島に城を
作る事なす

本島今井頼孝、高田早苗氏
よて、舞川東

本島、名を、且、後平氏之病状
を、何、後、兼、氏、之、病、状、を、上、六、羅、漢、の
面、を、兼、

本島、病、状、を、報、す
本朝、リ、子、リ、リ、用、リ、午、時、に
通、リ、

本、リ、ト、少、時、の、宛、氷、量、ヲ、除、キ
全、く、胸、部、冷、却、と、候、と、す、る、の
味、備、リ、あり、(本、リ、之、至、る、上)

胸部、氷、量、ヲ、宛、リ、轉、直、候、時
も、降、か、す、)

八月廿一日

晴天

病、中、異、事、な、す、り、

体温、
朝

午前、一時、半、に、腰、以下、ヲ、洗、滌、ス
午前、八、時、に、先、患、位、ス

本ら石氷巻を引除く

市後三浦君杉代院未記

川上原一中山田宮一氏分尺

舞世出来

牛後君舊屏一尺解備

中野平治氏分使未記

五葉うまをいふ書と号

事と托す

おろし又は水井一木事未記

九月一日

二万十也 風年一

くらお野屋五十分は

久保留金仙 尚書官

地習修去 東う接す

まゆの由也 じり色掛

しゆま取す

高島お島丸のしるあはれ

本よりおあまのあはれと一

まじり

うねれあはれあまの早訪あは

河内あはれあまのあはれ

大國殿へ申出候

九月二日

時よおあまのあはれ

咳の気味あり且つ少く痰有り
併し別れ取らば少し黒変り

体温 朝三十二度半

夕

何れも苦者多し且つ其病と治す由
を以て行ひ

午後二時末杉医師来診
ハ其病を以り子山ニカラム服
薬

本診者江部三平氏

午後二時牛山医師来診
年々老く者病を以り扱
し

三日

ハ其病を以り

別れ取らば

多し其病を以り扱す
其病と治す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

多し其病を以り扱す
其病を以り扱す

休温

朔三十五日

初三十一日

...

...

...

...

四日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

考案の心と云ふは、
執事の時、
牛多事、
抄録と抄録

あまをいふとあるに非ず

あまをいふとあるに非ず
抄録と抄録

抄録と抄録

抄録と抄録

あまをいふとあるに非ず
の本飲：豆入

定めの旨物を得る

あまをいふとあるに非ず
抄録

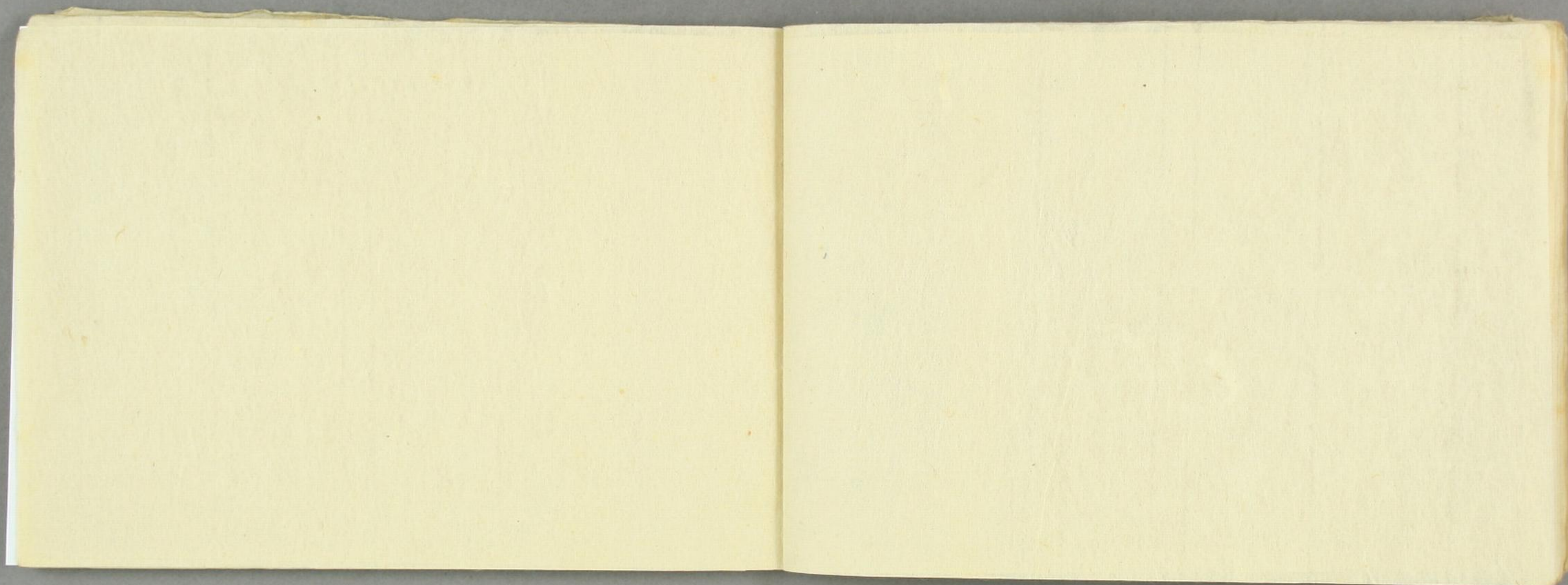
あまをいふとあるに非ず

あまをいふとあるに非ず

あまをいふとあるに非ず

あまをいふとあるに非ず

あまをいふとあるに非ず



以下
3丁
白紙

見舞物

一 西洋菓子 三編 栗林片

一 ビスケツト 一 鏡 石浜兵衛

一 玉子 五石 佐藤達高

一 菓子餅焼 三鏡 石井郡民

一 加須良長 一 花 藤村大左

一 餅 二 菓子餅 高橋家彦

一 餅 二 中野手原

一 菓子 三十五、大内守

一 三つ葉 一 菓子餅 高橋家彦

一 林檎 二

一 アメ鏡 一ツ 本島設了中

一 ビスケツト 一鏡 毛皮の巻下

一 越の雪 一袋 大内丸富美

一 カスラーラ 一 梅澤太以

一 牛乳 一 海沢美祐

一 鶏卵 一 桑 加空也

一 鶏卵 一 手はん、
全くと

一 鶏卵 一 桑 大内丸富美

一 タマゴ 一 鏡 飯木供沈

一 三子 一 三子 三子下

一 カスラーラ 一 真子南汽球

一 鶏卵 一 カゴ 後上馬下

一 越の雪 一 袋 鈴木之礼

一 ビスケツト 二鏡 高橋教

一 翁餅 一 袋 丹吳後平

一 金五郎 一 真島権下

一 畑麻糬 一 鏡 市島千之次

一 鶏卵 一 万々 市物寺下

一 一 廿五 鹿川第朝

一 カスラーラ 一 袋 片成尊

一 葡萄酒 三本 係垣陶二

一 一 一本 上池原以

一 鶏卵 一 袋 栗林内志

一 ビスケツト 一 鏡 野澤卯一

一カスミラウ田 一瓦 高野下島

一菓子折 一瓦 夜井一

一卵 一瓦 千頭佐居

一ブドー酒 二瓦 一

一越の雪 一瓦 少林快進

一菓子子 一瓦 小田幸介

一西は菓子 一瓦 山崎七平

一菓子子 一瓦 江部三平

一菓子子 一瓦 故本三平

一葡萄酒 一瓦 本山他次

一麦酒 七打 五丁丸家此

一菓子子 七打 青山徳一

一菓子子 七打 杉山徳一

一菓子子 十 子田仁兵衛

一菓子子 四 早川平助

一カスミラウ 一瓦 高野

一菓子子 三 杉本三平

一菓子子 三 堀田三平

一菓子子 一 谷宮三郎

一菓子子 一 小田幸介

一菓子子 一 丹三三郎

一菓子子 一 市島三郎

一 畑之雪

一 安藤栞

一 葉子

一 宋原生

一 葉子

一 葉子

一 真崎正

一 葉子

一 片田初之

一 仙之雪

一 肥田山

一 真之海

一 藤井三

一 畑の雪

一 方崎分

一 花又菊苗

一 方崎秀

一 林檎

一 主田行生

一 畑の雪

一 方崎梅

一 田

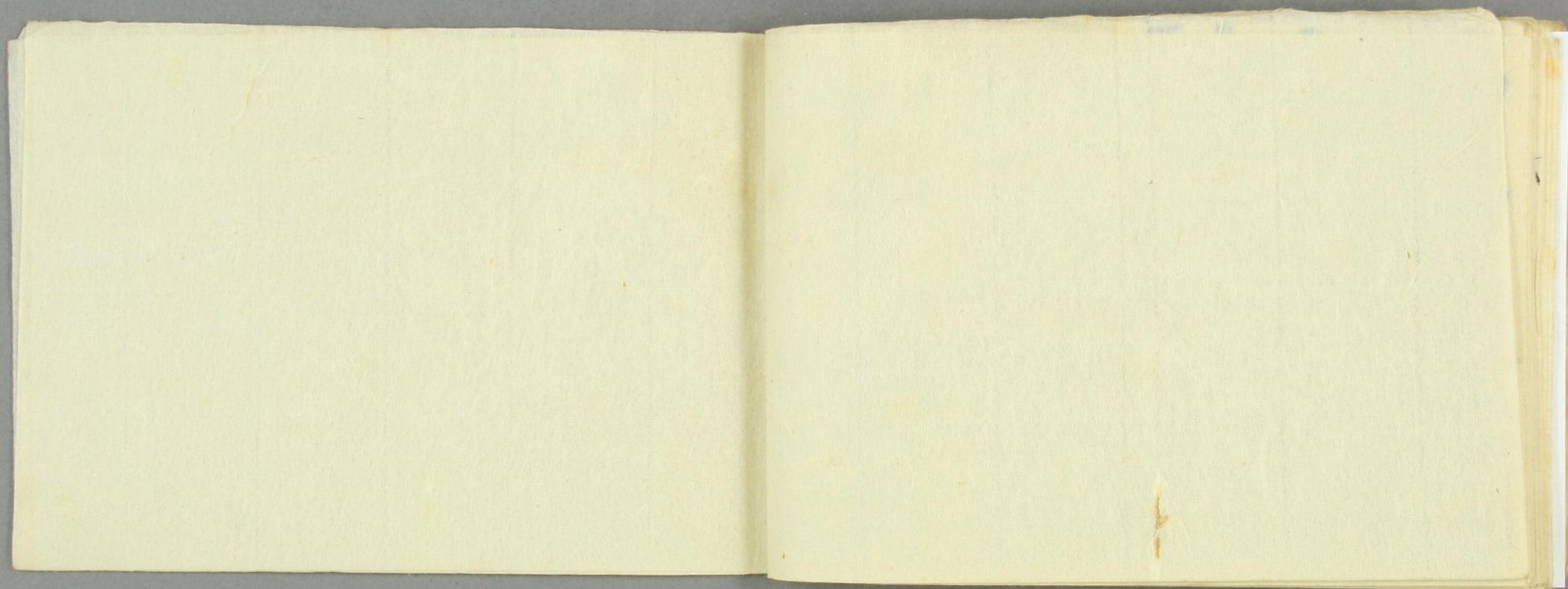
一 内田三

一 葉子

一 石原三

一 葉子

一 真崎正



明見家

